

ふれあい センター

商工会通常総会開催

5月18日、妹背牛商工会館にて会員41名が出席し、平成30年度妹背牛商工会通常総会が開催されました。総会の冒頭、赤藤敏仁会長は「商工会を取り巻く環境は厳しいものがありますが、妹背牛商工会の構成員が一丸となって平成30年度の事業計画を進めてまいりましょう」と挨拶。続いて渡辺正二議長の進行により、平成29年度の事業・決算報告、平成30年度の事業計画案や収支予算案などが審議されました。



直売所オープン



5月20日、農産物直売所「SUN工房 あぜみち」がオープンし、開店の日を待ちわびた大勢の買い物客で賑わいました。店内に所せましと並べられた色とりどりの花々や野菜の苗。野菜の苗は特に人気でどの野菜を育てようかと悩むお客さんも多く見られました。これから様々な野菜の収穫時期が来ると、直売所内はさらに賑わいを見せます。皆さんもぜひ、足を運ばれてはいかがでしょうか。

保育所園児がべにばら訪問



6月5日、妹背牛保育所の年長児8名がグループホームべにばら妹背牛を訪れ交流会を行ないました。園児たちは日頃練習している歌やお遊戯、手遊びなどを披露。お年寄りの中には感極まって涙する方もおられました。妹背牛保育所とべにばらが交流会を行うのは今回が初めてのことで、べにばらを運営する幸鐘会の米坂理事長は「これからもこの交流会が続き、入居する方々の生きがいのひとつになってくれればうれしい」と話していました。

折茂選手来町スポーツ教室

6月9日、妹背牛町総合体育館にてスポーツ教室が開かれました。講師として来られたのはプロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」の折茂武彦選手兼代表。



まず講話では「失敗と成功は紙一重。失敗は必ず成功につながる。」と語り、続いて行われた実技指導では参加した町内外のバスケットボール少年団員86人に対してシュートやドリブルなどの細かいポイントを伝授。プロ選手からの直接の指導に子どもたちは目を輝かせていました。

おいしく育ちますように…



5月18日、妹背牛小学校の1年生、2年生がふれあい農園を訪れ、トウモロコシやじゃがいもの種を植える農業体験をしました。これは作物の成長の様子や収穫を体験しながら、作物を育てる大変さや、食べ物への感謝の気持ちを育むことが目的です。農園の佐藤指導員から種イモの種類や植え方などを教わったあと、さっそく畑に入り、立派に育つことを願いながら丁寧に土をかけていました。児童たちは「おいしく育つかな」と秋の収穫を楽しみにしている様子でした。

モバイル緊急通報システム第一号

6月12日、町内で初めてモバイル緊急通報システムが1区西4町内の杉本ミチ子さん宅に設置されました。モバイル緊急通報システムは名刺ケースほどの大きさの持ち運びに便利な端末で、体の調子が悪くなった時などにボタンを2回押すだけで安全センターにつながり、必要に応じて救急車の手配などを行ってくれるというもの。説明を受けた杉本さんは「便利なものが出来たんだね。安心感がある。」と話していました。



YOSAKOIソーラン祭り



6月6日～10日に札幌大通り公園を中心にYOSAKOIソーラン祭りが開催され、6月9日、10日にはもせうしRIMUSE to 砂川彩華が登場しました。事前のお披露目で代表の岡田康夫さんが話していた「バリエーション豊かな隊列変化や、しなやかな動きに注目してください。」という言葉のとおり、当日は息の合った華麗な舞を見せてくれました。